

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361



7期目の議会活動

## ゴミ搬送先が一部地区で変更

町田市内で収集されたゴミは、大半のエリアで町田市のリサイクルセンターに運ばれて焼却などの処理をされています。ただし、一部の地域（小山ヶ丘地域）は、隣接する多摩市の多摩清掃工場（多摩市全域と、八王子・町田市の一部を担当する多摩ニュータウン環境組合で運営）の収集エリアとなっています。



今回、2022年4月から、その多摩清掃工場に搬入するエリアが、八王子市と町田市の一部を拡大する内容の議案を各市議会で可決しました。その多摩清掃工場で新たに処理する（編入する）ことになった収集エリアは、真光寺・真光寺町・広袴・広袴町・鶴川団地・大倉町となっています。

その理由は、ゴミの焼却施設は、焼却炉の運転を休まずに行うために、一定量のゴミ処理を継続して行う必要があります。広域エリアのゴミ処理施設の取扱量の調整が必要となるためです。現在、町田市は新たなゴミ処理施設（循環型資源化施設と呼ぶ）を建設中ですが、以前よりごみ処理量が少なくなっていることを前提に計画して操業することになっています。

## 中学校給食弁当方式の見直し

市議会の一般質問（松葉ひろみ議員）の中学校給食の問題に関するやり取りを通じて、市長答弁があり、端的に「大きく見直す」という、いきなり発言でした。これまでの市議会では、そのメニュー・弁当方式の見直しを求める意見が様々に出ており、ある意味、当然にあるべき問いかけでした。しかし、所管する教育委員会が現行路線のささやかな見直しで済ませ、一貫して維持していますが、注文業者委託方式の弁当喫食率は低下してきましたが、ついに、1ヶ台に突入する時点で、市長も現行路線を無理やり維持することでは、政治が持たないと見解を変えたものでしょう。今回の質問のタイミングと指摘の観点から、この答弁ができました。

教育委員会は、今年度の喫食率を30%という目標を掲げていますが、私は「目標を遥かに下回る結果しか出し得なかった場合はどうするのか、民間だと責任問題になる」と、指摘し、大幅な改善を求めてきました。早晚、行政内に、中学校給食の在り方に関する「検討委員会」が設置されるでしょう。



学校給食以外にも、自衛隊の給食も視察する

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」

[yoshidaben@gamil.com](mailto:yoshidaben@gamil.com)

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員・若者育成の街

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361



インターンシップ好評

## インターン体験記②齋川結衣

町田市の移動図書館を「南町田ハイタウン」と「南つくし野なかむら公園」2か所の巡回場所を見学した。町田市の移動図書館「そよかせ号」は、公共図書館を直接利用しにくい地域の住民に対し、本の貸出・返却・予約サービスを行っている。対象となる駐車場所は60か所あり、全部で3台の専用車両を使って2週間に1度の頻度で巡回する。

移動図書館の利用者数は天候に左右されやすい。見学当日は気温が高く、1か所の駐車場所の利用者数は10名程度、年齢層は親子連れや高齢者が大半であった。このことから、公共図書館へ足を運ぶことが難しい住民にとって移動図書館は気軽に身近な存在なのではないだろうか。

移動図書館を利用する目的は、主に予約本の貸出であることが多い。しかし、本を直接手に取って選ぶ楽しみは予約した資料を受け取るだけでは味わえないものである。手に取ることにより、興味や関心の幅が広がるのではないだろうか。移動図書館はこれからも住民を支える存在であり続けてほしい。



昭和女子大学3年生 齋川結衣(第46期生)

## インターン体験記②-1 佐々木愛花梨



横浜駅すぐのアソビルという施設内で行われていた「バンクシー展」に行ってみりました。想像以上に多くの来訪者に驚きながらも、バンクシー展を楽しむことができました。バンクシーという人物自体は知っていましたが、ネズミの絵を電車内に描いているイメージが強く、様々な作品を生み出しているアーティストというのはこの日に知りました。バンクシーの作風は、どれも少しゾッとするような、一見すると明るい楽し気な絵の中に隠れた風刺やユーモアにあふれており、特に政治や戦争、社会問題に一石を投じるかのようなものが多く見受けられました。中には宗教的にタブーとされるようなものもいくつかあり、かなり大胆で驚きが絶えませんでした。中でも印象深かったのは、やはり「顔が全員ニコちゃんマークの銃を持った兵士たち」の作品です。これは他の作品よりも手の込んだ展示の仕方からもうかがえるように、かなり強烈に私たちに訴えかけたいという強い意志、メッセージを感じました。正直、少しばかり怖く感じました。

昭和女子大学3年生 佐々木愛花梨(第46期生)

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守連合会派室  
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

よって全室個室であるように定められているという事でした。

介護施設、サービスはこれからさらに必要になってくるもので、これから就職活動をするにあたって、一つ考えておく必要があると感じました。



車いすが楽に交差できる広い廊下  
が特徴



浴槽がアップし、座って入浴できると説明を受ける  
昭和女子大学3年生星野ひとみ(第46期生)

## インターン体験記③-2 日高彩貴

午後には、二つの住宅型有料老人ホームを訪れた。「きらら真光寺」では、まだオープンしていない状態の施設を見学させていただき、とても貴重な時間が過ごすことができた。施設内には、広い廊下や、低めに設けられた手すり・水道など、車椅子でも生活しやすいように設けられたバリアフリーが多数見られた。また、初めて見学した介護施設というなかで、ナースコールのシステムに驚いた。施設内を見学していると、各部屋とトイレの入り口それぞれにボタンとランプがあることに気づいた。聞くと、これは室内でナースコールが鳴った際、職員が迅速に対応できるように設置されたものであった。ランプが点灯することでどの部屋でナースコールが鳴ったのかが一目で分かり、ボタンを押すとランプが消えて対応に向かったことが第三者に分かる仕組みとなっていた。実際に施設を見ることで、介護施設建設における工夫を知ることができた。



住宅型老人ホームわかば」も見学、玄関写真  
昭和女子大学2年生 日高彩貴(第46期生)

●この市議会報告は、毎月ごとに2回(まれに3回)発行しています。その作成・配布費用は年に2-3回ほど政務活動費を使用することがありますが、それ以外は全て自費で発行しています。

電話 042-795-7361 FAX042-795-2726 G-mail:yoshidaben@gmail.com

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## インターン体験記③-1 日高彩貴

相模原市立博物館を訪れた。自然・歴史展示施設では、相模原の街が現在の姿となるまでの歴史を台地ができた約10万年前から遡って見ることができ、相模原の郷土やくらしの歴史、自然が人にどのような影響を与えてきたのかを知ることができた。展示で印象に残った事として、相模原で盛んに行われていた養蚕があげられる。相模原では、蚕を種(卵)から育てて繭を作らせ、その繭や生糸を売っていた養蚕が江戸時代から行われていたと知った。生糸は、その後の日本の貿易にとって主な輸出品となるが、その生糸を作る工程を深く知らなかったために興味深い展示であった。畑作や養蚕を中心とした農業が生活の基盤にあった相模原では、様々な農具が残されており、養蚕で使われていた道具が展示されていた。その展示方法として、道具が生糸の制作工程に沿って並んでいたため、生糸ができるまでを想像しながらみることができた。  
\*他に、館内のプラネタリウムで作品鑑賞の記載部分以降は割愛)



昭和女子大学2年生 日高彩貴(第46期生)

## インターン体験記③-1 星野ひとみ

オープン直前の「住宅型老人ホームきらら真光寺」と、最近移転新築した「住宅型老人ホームわかば」を見学しました。オープン前の老人ホームを見学できるのは大変貴重な経験であり、介護事業や障がい者福祉事業の行う「有限会社 G」の代表取締役の刑部登志子さんと、住宅型老人ホームわかば統括の吉田修さんに詳しく説明をしていただきながら見学しました。この施設の特徴は、利用料がかなり安価に設定されているという事です。また内部も自然光を取り入れて明るく、部屋の壁紙も一面だけ色が入っているという入居者を飽きさせない工夫もされていました。



(写真)「きらら真光寺」を含めた、介護の事業、施設を運営される、有限会社Gグループの刑部登志子さんが内部を紹介

「住宅型老人ホームわかば」では、非常に家庭的な温かさを感じました。さらに設備の細かい箇所にも配慮がされて、入居者が安心して生活できる工夫があると思いました。両施設ともにすべて個室であることについて質問すると、法律に

★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施  
★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。